



# 学校だより

YY-NET 公式サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/mitakedai/>

第376号

横浜市立みたけ台中学校

1月号

平成30年1月9日

「共に生きる」心を大切にできる学校を目指して！  
～ 挨拶・感謝・思いやり ～

校長 濱本 貴康

平成30年・2018年がスタートしました。お正月は、天候にも恵まれ、穏やかな新春を迎えることができました。年の初めにあたり、保護者・地域の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。本年も、みたけ台中学校の生徒が健やかに成長できますように、教職員一同、教育活動の成果と課題を振り返り、今後も取り組んでまいりたいと思います。

今年初めての全校集会（1月9日）で、次のことを生徒に話しました。

明けましておめでとうございます。平成30年・2018年を迎えました。みなさんは、冬休みの生活の記録にありましたが、「2018年の目標」新年の決意、何を誓ったのでしょうか。

冬休みを迎える前、みなさんに話したように、節目を大事にすることは、重要だと思います。新年の決意を大切にスタートを切ってください。

3年生は進路決定まであと一息です。万全な体調で臨んでください。その間、お互いに切磋琢磨し、自己を高める友人関係を築いてください。今は実感がわからないかもしれませんが、中学校の頃に、知り合った仲間は生涯の友になります。

2年生、1年生は、今年度のまとめの時期をしっかりと過ごして、来年度につなげてください。

さて、日本には、1月7日は「七草がゆ」を食べる習慣がありますね。今年一年の無病息災を願い、また、正月で疲れた胃腸を休める。青汁が不足する冬場の栄養補給をする先人の知恵です。このような歴史から生まれたしきたりは、人の長い歴史の中で培った豊かな生活の知恵のあらわれではないかと思います。時代とともに生活習慣は変わりますが、人と人と関わり、人と共に生きていくことは変わりありません。みなさんで、共に力を合わせて、「地域に支えられながら、人とのつながりを大切にしましょう。」

勉強や運動はもちろんですが、行事や学年・学級での活動を通して、学校教育目標「めざします！いきいきと楽しく笑顔あふれる学舎を！」を実現し、「共に生きる」ということをみなさんと考えていきたいものです。

新しい年を迎え、みなさんがさらに、自分自身の向上に努め、充実した日々を送れることを、期待しています。

保護者、地域の皆様、みたけ台中学校では、生徒一人ひとりが学力や体力などに自分自身の力を高め、仲間との絆を学び、ルールや思いやりを尊重しながら、社会を生き抜く力を身に付けるために、今後も様々な取組をしていきたいと考えています。

本年も昨年と同様、様々な場面で、ご支援・ご協力をよろしく申し上げます。



# マナー講座

キャリア教育の一環として1年生を対象にマナー講座を行いました。早坂顕子先生を講師にお招きし、相手に与える印象について演習を交えながらわかりやすく講演していただきました。

## <生徒の感想>

- ・「聞き上手」のお話で、いつも何気なくやっていることが相手を傷つけてしまっていたかもしれないということを知ったときに、これから気を付けないといけないなと思いました。



# クリスマスコンサート

12月3日(日)、コミュニティハウスにおいてクリスマスコンサートが行われました。2部構成となっており、本校の吹奏楽部が第1部で演奏しました。



# 中里北部ふるさとマラソン大会

12月3日(日)小春日和の穏やかな天候の中、第5回中里北部ふるさとマラソンが開催されました。本校からは陸上競技部員が参加し、中学男子の部で1位から3位まで独占することができました。入賞者は中学男子1位作本浩太さん、2位下中村創星さん、3位西川良輝さん、中学女子2位永見紗織さんでした。

# 体験学習 1年しめ縄づくり

12月16日(土)地域ボランティアさんの協力により、毎年恒例のしめ縄づくりが行われました。本年度は土曜参観時の開催であったこともあり、保護者のお手伝いや見学も多く見られました。子どもたちは想像以上に立派なものができ、たいへん満足していたようです。ご協力ありがとうございました。



## <生徒の感想>

- ・今日はしめ縄体験を開催していただきありがとうございました。今回僕は初めてしめ縄をつくることになり、難しいのかなと思って不安でしたが、皆さんが丁寧にわかりやすく教えてくれたおかげで良いものことができました。また、しめ縄はなぜつけているのか、それぞれの部分にはどんな意味があるのか全然知らなかったけれど、今回のお話の中で悪いものを追い出す役割だとか、稲の豊作を祈るという意味があるなど知ることができました。

# 体験学習 2年福祉体験学習

2学年は、車椅子バスケットの選手とミニゲーム等とおしてふれ合い、福祉について学びました。



## <生徒の感想>

・今回はお忙しい中、お越しいただきありがとうございました。実際に体験してみて難しそうだったけど、バックとかもできて意外と簡単で楽しかったです。お話にもあったように事故で足を怪我してしまっても諦めないことが大切なのだなと思いました。将来、もっと車椅子の人が暮らしやすい世界になれるよう、自分もできることを探せたらと思います。本当にありがとうございました。

# 創立40周年記念キャラクター決定

創立40周年キャラクターを生徒より募集したところ、22点の応募がありました。1次選考で6点に絞り込んだ後、生徒・職員が投票し、土曜参観時の保護者の方にも投票していただきました。その結果3年1組の富樫佳菜さんの作品『たけみ』が選ばれました。



# 赤い羽根協同募金

総額は¥13,204円でした。みなさまご協力ありがとうございました。



# 年頭に当たって

## 1年 学年主任 佐藤 恵子

新年あけましておめでとうございます。今年はどうな年になるのでしょうか。過去は変えられないけれど未来は自分でつくるものです。あと3か月で2年生。心に描く「なりたい自分」に一歩ずつ近づいていきましょう。今年も明るく楽しくがんばりましょう。

## 2年 学年主任 三宅 恵美

新しい年になりました。今年はいよいよ最上級生。自分の将来を考え、未来の夢を語る年であってほしいと思います。そして、一緒に過ごす仲間が存在が互いに大きな支えとなるような、そんな仲間作りをしていきましょう。実り多い年にしたいですね。

## 3年 学年主任 園山 敦也

あけましておめでとうございます。入試本番に向け、日々、入念な準備をしていることと思います。心と体の健康に気をつけて、自分の進路が実現できるよう最後の仕上げをしていきましょう。応援しています。

☆今年がすばらしい一年となるよう、職員一同お祈り申しあげます。☆